

松本平広域公園総合球技場 スタジアム照明 要求水準書

本事業に係る提案は、以下に掲げる各項目の内容を満たす工事を実施することとし、その具体的な工法等を提案し金額を算定すること。以下に掲げる項目以外については、実施すべきと考えられる項目の積極的な提案を求めるものである。

1 本事業に関する基本要件

(1) 事業実施体制

- ア 本事業の特殊性、専門性に対応した事業実施体制を構築すること。
- イ 県内企業の活用に十分配慮すること。

(2) 適切な工程・計画

- ア 設計・施工一括方式のメリットを生かした工期短縮に努め、履行期限までに完了できる具体的な計画とすること。
- イ 工事期間中の松本平広域公園内各施設の使用に影響を与えないよう配慮をした工程とすること。

(3) 円滑な競技運営に対する配慮

- ア 公益財団法人日本サッカー協会スタジアム標準、Jリーグスタジアム基準をはじめとしたサッカースタジアムに関する各種基準に配慮すること。
- イ 総合球技場としての機能の維持とともに、従来から開催されてきた各種大会・イベント等の運営に支障を来さないよう配慮すること。

(4) コスト削減に対する創意工夫

- ア 本要求水準書の内容を遵守しつつ、イニシャル・ランニングの両面からの総合的なコスト削減のための創意工夫をすること。
- イ 既存施設と比較し、省エネ効果を確認できる資料を作成すること。

(5) 保守管理に対する配慮

- ア 日常的な利用の操作性はもちろん、維持管理・保守管理・故障時の対応などの容易性・迅速性・安定性に対する配慮をすること。
- イ 寒冷地等の立地特性を考慮した耐久性、耐候性、メンテナンス性等について配慮すること。

(6) 環境等に対する配慮

- ア 地球環境はもとより、本市の気候風土などに十分に配慮すること。
- イ 敷地外に対する光害（漏れ光，上方光束），騒音，電波障害等の影響についてきめ細かく検討し，可能な限り影響を低減する適切な対策を講じること。

(7) 整備費用

- 提案金額は、整備内容に対して妥当な金額であること。

(8) 照明設備の幅広い活用

従来行われてきた大会・イベント等の賑わいをサポートするとともに、当該施設でこれまでにない魅力あるイベントの開催・誘致にも資するよう、幅広い利用を想定した創意工夫をすること。

2 照明設備に係る要求水準

(1) 共通事項

ア 高効率機器及び省エネルギー手法の採用により、エネルギーの節約を図ること。

イ イニシャル、ランニングの両コスト及び運用上の信頼性において、最も有利と考える方式を提案すること。

なお、既存の電力需給契約の変更や自家発電機の設置その他の電力供給方式等についても提案事項である。

ウ 日常的な利用の操作性はもちろん、維持管理、保守管理、故障時の対応などの容易性、迅速性、安定性に配慮した計画とすること。

エ 機器の不具合発生時は、代替機器や修理部品等を迅速に準備し、速やかに不具合を是正できるような計画とすること。

オ 防水性や耐候性はもちろん、立地特性を考慮し、耐積雪性等に配慮した計画とすること。

カ 配線は可能な限り既設の埋設配管を使用し、電線等の架空配線は行わない計画とすること。

キ 既存の建築物等の構造の変更はしないこと。

ク 提案内容によって必要がある場合は、受変電設備、自家発電機、幹線設備、埋設配管等の改修又は増設、既存の電力需給契約の変更を行うこと。また、電力需給契約は、既存の契約の変更とし、新たな契約は行わないこと。

ケ 事業スケジュールに支障がないよう、必要な各種許認可、届出等の手続を実施すること。また、必要に応じて、各種許認可等の写しを提出すること。

コ 松本空港周辺における高さ制限に抵触しない計画とし、届出等を適切に行うこと。

(2) 照明設備に関する事項

ア 使用する照明器具は、次の要件を満たすものとし、Jリーグディビジョン1のクラブライセンスを保有するクラブの公式戦が行われた競技場への納入実績があるメーカーの製品とする。

なお、当該実績がない場合は、公益財団法人日本サッカー協会が定める「スタジアム標準」におけるクラス1のスタジアムで採用できる水準であることを明示できる場合のみ導入可能とする。

(ア) 平均演色評価数65以上

(イ) 相関色温度5,000K以上

(ウ) 調光機能付き (既存設備 (5段階) 以上)

(エ) 光源寿命 (光束維持率85%) 40,000時間以上

イ ピッチ内の光環境は、次の要件を満たすこと。

(ア) 水平面照度は、ピッチ内を少なくとも10m×10mのグリッドに分割して測定したとき、いずれの場所でも1,500ルクス以上となること。

なお、将来的な対応として2,000ルクス以上が確保できる予備スペース、予備配管、構造対応の検討をおこなうこと。

(イ) 均斉度 (最小/平均) は、0.7以上とすること。

(ウ) グレア制限値は、ピッチ内を少なくとも10m×10mのグリッドに分割して評価したとき、いずれの場所でも50以下となること。

ウ 照度は練習時、一般競技、公式競技、プロスポーツ競技等の幅広い利用種別に応じた照度の容易な切替えができ均斉度を保つこと。

エ プロスポーツやイベント等の開催時に多様な演出が可能なように計画すること。

オ 照明の制御は、管理事務所で一括管理できること。

カ 選手及び関係者に不快なグレアが生じず、観客と周辺地域においても光漏れやグレアが生じないよう十分配慮すること。

キ -20℃~40℃の温度範囲において、問題なく動作すること。

ク 照明塔からの落下防止対策を施すこと。

ケ ランプの交換が困難な場所は、自動昇降機付きの器具を選定するなど、メンテナンスの容易なものとする。

コ 構造計算により強度確認を行うこと。

サ 松本空港に隣接するため、松本空港管理事務所の確認を受けること。

シ 照明設備の改修後、現地調査し必要な調整を行うこと。

ス 高品質な放送にも適した照明環境とすること。

セ 観客席及び保安灯については既設設備と同等以上とすること。

(3) 照明塔に関する事項

基本は既存照明塔を活用する計画とするが、あらたに設置が必要な場合は以下を満たすものとする。

ア 設置位置は、スタジアム標準等の基準を参照し、適切に配置すること。

イ 基礎及び杭の設計に当たっては、必要に応じて地質調査を行うこと。

なお、技術提案に当たっては、別添地質調査報告書を参考として検討すること。

ウ 建築基準法等の関係法令に準拠した構造であること。

エ 耐風速は、60m/secを満たすこと。

オ 照明塔に雷保護設備として避雷針を設けること。

(4) 電気設備に関する事項

- ア 国内での導入実績等を踏まえた信頼性のある機器を選定すること。
- イ 設備の設置位置は、配電計画、騒音対策、施設の利用・維持管理、イニシャル・ランニング両コスト等を総合的に考慮した位置とすること。
- ウ 低騒音型機器の採用のほか、消音・防音ボックス、防音壁等の設置など、適切な騒音対策を講じること。
- エ 設備周辺には入り口の施錠が可能な保護柵を設置するなど、関係者以外が容易に立ち入ることができないための対策を講じること。